

里海のうまいを発信

のと寒ぶりまつり



把瑠都さんと比べると小さく見える10kgの寒ぶり。片手で軽々と持ち上げる姿に歓声がわく



能登高校の書道部員による書道パフォーマンス



美味しさに、ついつい大量買い



美味しいひとときを過ごす来場者でグルメメントは熱気に包まれた



寒い外で味わうぶりしゃぶは格別



弥栄太鼓の力強い太鼓の音が響く



多くの来場者で賑わう会場



寒ぶりの振る舞いには長蛇の列ができた



特命大使が寒ぶりの振る舞いをお手伝い



冬の味覚の王者、のと寒ぶりが味わえる「宇出津港のと寒ぶりまつり2018」が1月21日、宇出津港いやさか広場で開催されました。

来場者は、東京都、大阪府、愛知県をはじめとする16都道府県からおよそ6,100人の観光客が訪れ、能登町の冬の味覚を堪能しました。

イベントのオープニングは、活気あふれる地元能登高校生による書道パフォーマンスと宇出津の伝統芸能、彌栄太鼓保存会による勇ましい演奏で華々しく幕を開けました。

10kgを超える「宇出津港のと寒ぶり」の解体ショーでは、昨年5月に能登町寒ぶり特命大使に任命された元大関の把瑠都さんと石川県民おなじみのハンディやしきさんの掛け合いもあって、笑いも交えた豪快な解体ショーを繰り広げました。

解体した寒ぶりはその後、把瑠都さんから来場者一人ひとりに振る舞われ、長蛇の列になっていました。

メインステージで行われた即売会では、朝水揚げされたばかりの寒ぶりが約200本が「1本、切り身、お刺身」となって販売され、贈答品やご家族用に買い求める人で列を作っていました。

グルメメント村は、ぶりしゃぶ、ぶり大根、ぶりの照り焼きといった、のと寒ぶりにちなんだ飲食ブースが軒を連ね、姉妹都市の宮崎県小林市も宮崎牛のしゃぶしゃぶで応援出店するなど、過去最多の32店が賑わいをみせていました。

また、イベントに合わせて聖地巡盃の企画「のと寒ぶりまつり参戦ツアー」が今年も開催され、定員いっぱいとなる21人（首都圏13人、県内8人）が参加しました。

東京都からの参加者は「このぶりは大きくて味もしっかりしているからお酒にもよく合う！」と嬉しそうに話し、イベントを満喫している様子でした。



能登町消防団出初式

消防人として決意新たに
1月6日、平成30年町消防団出初式が能都体育館で開催され、16分団280人の団員が防火の決意を新たにしました。式典後、宇出津港いやさか広場で一斉放水が行われ、集まった見学者らを前に勇壮に放水する姿を見せました。次の皆さんが表彰されました。



■消防庁長官表彰

退職消防団員報償

向峠茂人(元町消防団長)宮下彰雄(元町消防団副団長) 大路雅美(元町消防副団長) 坂下静男(元小間生分団長) 魚棚勇人(元松波分団長) 船本 隆(元小木分団副分団長)

■石川県知事表彰

永年勤続功労章

山岸貴志(山田・部長) 竹口太郎(鶴川・班長) 大豊 太(松波・班長) 團子石和雄(松波・班長) 佐藤嘉久(高

倉・団員) 平田大輔(高倉・団員) 上谷浩之(鶴川・団員) 向峠浩史(岩井戸・団員) 今井和人(高倉・団員) 山本満三(山田・団員) 影田伸幸(岩井戸・団員) 西 元昭(宇出津第2・団員)

退職消防団員報償

布久保 利之(元不動寺・団員) 坂口明(元白丸・団員)

消防吏員功労章

西谷内英章(消防司令補) 有手栄作(消防司令補) 赤坂孝介(消防司令補) 河端宏明(消防司令補)

■能登町長表彰

永年勤続功労章

田高直樹(白丸・班長) 菅原利夫(小木・団員) 岩坂崇寛(松波・団員) 小坂陽一(神野・団員) 橋本克治(鶴川・団員) 高出隼人(鶴川・団員) 安宅操(宇出津第1・団員) 澤田和哉(柳田・団員) 上野仁寛(宇出津第2・団員)

磯部勇氣(白丸・団員) 時長弘志(三波・団員) 紙子輝芳(宇出津第1・団員) 干場智央(高倉・団員) 河野芳秀(三波・団員) 徳田啓一(岩井戸・団員) 向峠 昂(岩井戸・団員)

優良団員表彰

大黒大二郎(三波・団員) 高宮大介(三波・団員) 中村祐貴(高倉・団員) 稲葉義康(鶴川・団員) 坂 威武希(柳田・団員) 干物弘治(宇出津第2・団員) 谷口翔太(小木・団員)

消防団長表彰

精勤章

吉中伸幸(山田・班長) 寺下伸芳(宇出津第2・団員) 橋本恭祐(三波・団員) 工藤 史(上町・団員) 久田孝信(宇出津第2・団員) 与野井斗史(小間生・団員) 嶋島慎司(宇出津第2・団員) 橋本武蔵(松波・団員) 名竹和規(不動寺・団員) 井上嘉輝(宇出津第1・団員)

■平成29年新入団者

田中昌樹(小間生) 石脇康至(宇出津第2) 山瀬健一(宇出津第2) 森田孝幸(岩井戸) 前田拓也(宇出津第1) 南口敬太(白丸) 坂下眞一(小間生) 打合昂樹(上町) 出島崇司(不動寺) 敷平 洋(鶴川) 坂本佳隆(三波) 中野歩誠(不動寺) 波瀬英喜(小木)

内浦地区の分団による小木～松波間のパレード



能登消防署 宇出津分署完成

生命・財産を守る 防災拠点の誕生



関係者と一緒にしらさぎ・ひばり保育所園児がテープカット



園児らが完成を祝い踊りを披露

1月19日、宇出津の梅ノ木地内に建設された、宇出津分署の竣工式が行われ、関係者約100人が新たな防災拠点の完成を祝いました。

新庁舎は鉄骨2階建てで、耐震性と非常時の十分な活動機能を有しており、内装には能登ヒバやヒノキをふんだんに使用しています。また、1階には地区の集会所を兼ねられる会議室が設けられており、地域コミュニティーの拠点としても活用することができます。



坂下秀治能登消防署長が、完成にあたり感謝と決意を述べた

小木地区自主防災組織 知事表彰を受賞

小木地区自主防災組織が知事表彰を受賞し、12月21日県庁で表彰式が行われました。

能登町内の自主防災組織で知事表彰を受賞するのは初めての快挙。小木中学校・小木小学校が主体となり、地域一丸となって防災活動に取り組んできたことが評価されました。

式に出席した北野修会長は「学校の子どもたちが頑張ってくれたおかげで地域に防災意識が身についた。災害が起こらないに越したことはないが、これからも防災活動を行って万全に備えたい」と話しました。



表彰状を手にする北野修会長(右)

平成29年度 能登町災害伝承講演会

その時、何ができるのか

日時 2月9日(金) 13:00～15:30

会場 役場能都庁舎 4F ホール

講師 平澤 つぎ子 (旭市赤十字奉仕団)

講師の活動

震災時、避難所運営の補助や避難者の食事面、環境衛生面、心のケアなどで活躍。発生から約2カ月間にわたり活動を行った。

東日本大震災での経験をもとに、当時の避難所の状況や避難者がどのように過ごしていたのか、そこで学んだ教訓について講演して頂きます。

災害が起こったとき、何をすべきか、何ができるのか、みんなで考えてみませんか。入場無料です。ぜひお越しください。

☎危機管理室 ☎62-8513